

受賞報告

小児医学川野賞受賞に当たって

加 治 正 行 (静岡県立こども病院内分泌代謝科)

この度、日本小児保健協会からの御推薦により、「小児の喫煙・受動喫煙をめぐる臨床的研究」に対し、小児医学川野賞をいただけることになりました。御推挙くださいました、日本小児保健協会会長・村上睦美先生をはじめ諸先生方に心より御礼申し上げます。

私は、受動喫煙から子どもが受ける健康被害に関心を持って研究を始め、受動喫煙によって幼児の血中鉛濃度が上昇すること、妊婦の受動喫煙によって胎児にニコチンが移行すること等を明らかにして参りました。また、子ども達を受動喫煙の被害から守るために、診療の場で保護者への指導に工夫を重ねて参りました。

さらに、昨今喫煙する子どもが増えていることから、わが国で初めての「子ども専門の禁煙治療外来(卒煙外来)」を2002年に開設し、タバコをやめられない子ども達の治療に当たって参りました。

喫煙・受動喫煙から子ども達が受ける健康被害は甚大であり、子ども達の健全な成長を保証するために、子ども達が育つ環境からタバコをなくすことが大人の責任ではないでしょうか。子ども達がタバコによって苦しめられることのない世界を目指して、今後も微力を尽くしたいと考えております。

お知らせ

日本小児保健協会平成17年度新入会員

(平成17年1月～平成17年2月分)

次の方々が正会員として承認されました。

【普通会員】

茨城県 熊谷 恵子	埼玉県 山路 学	愛知県 三宅 香織	兵庫県 高野 美由紀	海外 神山 歩弓
東京都 本村 文子 鐘水 浩二	静岡県 岩田 祥吾	奈良県 秦 るみこ	鳥取県 中山 忠政	